

平成29年度八頭町全体の目的・目標・実施結果一覧

項目	目的	具体的目標	H29年度実績	環境マネジメントプログラム				
				実施項目(手段)	日程	実行部門		
環境 負 荷 項 目	省資源省エネ	電気使用量を削減する	平成29年度使用量 1,686,504kWh 平成17年度使用量 1,760,822.0kWh 目標値 1,602,348.02kWh 目標達成度 95.0%(4.2%削減)	空調設備の使用管理を徹底する 会議室等の使用時、冷暖房の温度を適切に調整管理する 昼休みは本庁の窓口・共通部分以外の消灯を徹底する パソコン、コピー機等の事務機器の不使用時に電源をこまめに切る ノーマル電源を推進する(毎週水曜日) 省エネルギー対応機器への交換を促進する	6月～9月、12月～3月 6月～9月、12月～3月 通年 通年 通年 更新時	全部署 全部署 全部署 全部署 全部署 全部署		
	省資源・省エネ、排ガス削減	公用自動車のガソリン使用量を削減する	平成17年度比9%増までに抑制 (平成17年度使用量 30,876.5%)	平成29年度使用量 36,806.7% 平成17年度使用量 30,876.5% 目標値 33,655.385%以下 目標達成度 91.4%(19.2%増加)	同一方向の相互利用 不要なアイドリング、空ぶかし、急加速、急発進をしない 急ブレーキをかけるような運転をしない	通年 通年 通年	全部署 全部署 全部署	
		公用自動車の軽油使用量を削減する	平成17年度比24%以上削減 (平成17年度使用量 16,463.5%)	平成29年度使用量 11,898.6% 平成17年度使用量 16,463.5% 目標値 12,512.26% 目標達成度 105.2%(27.72%削減)	無駄な荷物を積まない 適切な点検整備を行う 法定速度内で経済速度(一般道路40～60km/h、高速道路80km/h)走行を心掛ける	通年 通年 通年	全部署 全部署 全部署	
		通勤時による排ガス(CO2)排出削減	CO2排出削減(努力目標)	通勤時及び各種会合・研修会時に公共交通機関及び乗り合わせ等を行った	通勤に自転車、乗合、公共交通機関を利用する	通年	全部署	
		省資源省エネ	灯油の使用量を削減する	平成17年度比24%以上削減 (平成17年度使用量 58,020%)	平成29年度使用量 28,627.2% 平成17年度使用量 58,020.7% 目標値 44,095.2% 目標達成度 154.0%(50.7%削減)	ストーブ等の使用をできるだけ控える	12月～3月	全部署
			A重油使用量を削減する	平成17年度比15%以上削減 (平成17年度使用量 51,126%)	平成29年度使用量 0% 平成17年度使用量 51,126.0% 目標値 43,457.1% (使用する施設なし)	手順書に基づくボイラー等の使用管理の徹底	6月～9月、12月～3月	船岡保育所
			LPガス使用量を削減する	平成17年度比11%以上削減 (平成17年度使用量 12,713.5m)	平成29年度使用量 2,569.7m <sup>3</sup> 平成17年度使用量 12,713.5m <sup>3</sup> 目標値 11,315.0m <sup>3</sup> 目標達成度 44.0%(79.8%削減)	給湯器、ガスコンロの使用管理を徹底する	通年	全部署
		省資源	水道使用量を削減する	可能な限り削減	平成29年度使用量 22,095m <sup>3</sup> 平成17年度使用量 44,027.0m <sup>3</sup> 平成28年度使用量 23,005m <sup>3</sup> 平成17年度比削減率 49.8%削減 平成28年度比削減率 4.0%削減	必要な量の使用を徹底し、節水を促進する  トイレ用擬音装置の使用を徹底し、節水を促進する	通年  通年	全部署  全部署
			紙使用量を削減する	可能な限り削減	平成29年度使用量 3,584,590枚 平成17年度使用量 1,250,375枚 平成28年度使用量 3,151,765枚 平成17年度比削減率 186.7%増加 平成28年度比削減率 13.7%増加	両面コピーを徹底する 会議、配付資料の必要部数の最少化を推進する リサイクル封筒の使用を推進する 資料の個別所有を制限し、担当内での共有化を推進する ミスコピー等の裏面再利用、メモ用紙への再利用を促進する ファイルの再利用を推進する	通年 通年 通年 通年 通年	全部署 全部署 全部署 全部署 全部署
		可燃物の排出削減	可燃物の排出量を抑制する	可能な限り削減	平成29年度排出量 37,389.7kg 平成17年度排出量 39,237.9kg 平成28年度排出量 40,734.6kg 平成17年度比削減率 4.7%削減 平成28年度比削減率 8.2%削減	廃棄物処理運用手順書に基づき、リサイクルを徹底し可燃物の排出量を削減する	通年	全部署
環境 保 全 項 目	グリーン購入の推進	グリーン購入の推進・普及を図る	指定物品については、原則グリーン購入を行う	町全体 97.7%	調達方針の定めにより推進を図る	通年	全部署	
	廃棄物の削減	資源ごみの分別を徹底し、リサイクルを推進する	廃棄物処理運用手順書に基づく取組の徹底や見直しを行い、さらに推進する	廃棄物処理運用手順書に基づき取組を行った	ビン類、カン、プラスチック、ペットボトル、トレイ、ペットボトルキャップに分別して排出  古紙類、シュレッダー屑、段ボール等を分別して排出	通年 通年	全部署 全部署	
	公共事業の環境配慮	設計金額500万円以上の工事について手順書により環境配慮を行なう	公共工事環境配慮手順書に基づく取組の徹底や施工業者と連携を図り推進する	該部署において公共工事環境配慮手順書に基づき取組を行った	環境に配慮した設計及び施工方法の確認  建設副産物、建設発生土及び建設廃棄物の取扱いの確認 その他環境に配慮した事項の確認	設計時 設計及び事業完了時 設計時	該部署 該部署 該部署	
	イベント・行事等における環境配慮	町の行うイベント・行事等について環境配慮を行なう	イベント環境配慮手順書に基づき推進する	イベント環境配慮手順書に基づき、担当部署が主体となって取組を行った	環境負荷の少ない物品の使用、廃棄物の抑制、ごみの持ち帰り、分別徹底、リサイクル、マイク口送迎や自転車、乗り合わせ、公共交通機関の利用促進	イベント・行事開催時	該部署	

平成29年度八頭町全体の目的・目標・実施結果一覧

項目	目的	具体的目標	計 画	H29年度結果	環境マネジメントプログラム		
					実施項目(手段)	実行部門	
環境保全項目	省エネ省資源	節電の推進	昨年度使用量より削減	室内灯をこまめに切る等節電対策を率先して行う H28年度 133,347kWh H29年度 139,534kWh 達成率 95.5% 厳しい寒波により電気使用量が11月に微増、12月に大幅に増えたが、夏場は昨年より平均気温が高かったものの取組により概ね昨年並みとなった	クールビズ・ウォームビズの啓発、冷暖房や照明機器、事務機器の適正使用により、率先して節電に取り組む。	総務課	
	町民への環境保全普及啓発	広報紙による環境情報の提供	年間12回	広報誌「やす」の紙面に環境情報を掲載し、住民に対し環境保全を促す H29年4、7、11、12、平成30年2月号の計5回町報にマイバック持参の啓発記事を掲載した また他事業の啓発物品にマイバックを採用し、町内各家庭へ配布を行った	マイバックの持参等の啓発の記事を掲載する	企画課・地方創生室	
	太陽光発電システム設置推進	各家庭の太陽光設置の推進	年間20件、補助金予算3,600千円	国・県と連携を図り、補助金制度の拡充を行い、家庭での地球温暖化防止、温室効果ガス排出削減に寄与する各種税金の期限内納付と口座振替の推進を図る	年間7件(達成率35%) 支払総額 1,238,400円	国、県と連携を図り、太陽光発電システム設置に係る補助金制度の拡充に努める	企画課・地方創生室
	事業における環境配慮	口座振替の推進			毎月20日過ぎに2日間(年間24回)納付期限のお知らせと口座振替推進の放送を朝昼晩の無線放送で実施した	広報や防災無線、納付書発送時のミニチラシで推進する	税務課
	事業における環境配慮	電子申告の推進		電子申告の広報・啓蒙普及を図る	窓口、電話問い合わせ時、申告会場等で随時電子申告の案内を行った	広報や封筒への掲載、同封する文書に啓発の文言を載せて啓発を行う	税務課
	廃棄物の削減	分別の啓発		ごみの分別の啓発	区長会や環境美化推進委員会、女性団体連絡協議会、環境学習会等で分別についての啓発を行った	区長会で分別の啓発を行い、ホームページにも分別についての記事を掲載する	町民課
	廃棄物の削減	コンポストの設置促進		コンポスト(生ごみ処理機器)等の購入費補助金を行う	区長会や環境美化推進委員会で制度の内容説明や導入の啓発を行った 年間コンポスト設置数 5基	コンポストや生ごみ処理機の購入費補助金要綱に基づき推進する	町民課
	生ごみ資源循環促進	生ごみ分別回収促進	5集落/年 程度追加	生ごみ分別回収、液堆肥リサイクルの集落を増やす	区長会や環境美化推進委員会で制度の内容説明や導入の啓発を行った 年間0集落 追加地域なし	区長会で取組の推進を行う	町民課
	資源回収事業の推進	古紙回収の実施		家庭の古紙回収日を設定し、定期的に回収する	計6月実施(5,7,9,11,1,3月) 回収量合計 34,085kg	該当集落には古紙回収カレンダーを配布し、回収を啓発する	町民課
	資源回収事業の推進	資源回収事業の奨励	参加10団体/年	参加団体を増やす	実施回数33件(33団体) 補助金額 509,540円	資源回収等を行った団体に対し、補助金を出す	町民課
	処理困難廃棄物の回収・適正処理	各家庭の処理困難廃棄物の回収	年1回	回収日を年一回設定し、各地域ごとに回収を行う	11/18実施 72名分回収	広報で回収日を掲載し周知を図り、適正に処理がされるよう回収を行う	町民課
	ごみ不法投棄対策	ごみ不法投棄対策の推進	月4日程度	ごみ不法投棄を監視し防止の啓発を行う	環境監視員2名による監視を実施(月に4日) 回収総量 131.5kg	環境パトロールを実施したり、防災無線や広報誌を活用し啓発する	町民課
	イベント・行事等における環境配慮	イベント・行事等における環境配慮	主催する全てのイベント及び行事	町の行うイベント・行事等について環境配慮を行い、ごみの排出について町民への啓発や協力を求める	各種イベントで再利用できる物品は極力再利用した また環境配慮した物品を可能な範囲で使用し、会場ではゴミ箱を分けて、分別表示する等廃棄物の分別に努めた	各種イベント、祭りにおいて資源再利用を図り廃棄物を抑制し、準備及び当日においてもごみの分別を徹底したり公共交通機関の利用促進を行う	産業観光課
	公園緑地緑化の推進	緑化事業の啓発普及		緑化事業の啓発を図る 緑の羽共同募金を実施する	緑の共同募金額 858,583円 「一株植樹」販売額 170,770円	緑化事業について区長会で事業説明をし集落や個人での植樹の推進を図る 緑の羽共同募金について区長会で協力依頼を行う	産業観光課
	森林整備の推進	間伐事業及び作業道の開設による整備の推進	森林の整備 年間 245ha 作業道 年間30,000m	間伐事業により健全な森林の整備を推進する 森林整備のための作業道開設を推進する	間伐面積 136ha(達成率56%) 作業道開設 19,364m(達成率65%)	国・県の補助制度を活用する	産業観光課
	事業における環境配慮	公共事業の環境配慮		公共工事環境配慮手順書に基づき取組を行う	該当事業なし	公共工事環境配慮手順書に基づく取組の徹底や施工業者と連携を図り推進する	産業観光課
環境保全活動	竹チップ・パウダーの推進		竹林の有効活用を図り、竹チップやパウダーの製造の推進を図る	竹林整備事業により竹チップ427.4㎡を搬出した	竹林整備事業等への竹林間伐により発生する竹材の有効活用を図る 竹チップやパウダーの製造について広報紙やホームページに掲載し推進を図る	産業観光課	
環境保全活動	鳥インフルエンザ対策		発生時の対応を的確に行う	該当事業なし	被害を最小限にとどめるよう努める	産業観光課	
環境保全活動	口蹄疫対策		発生時の対応を的確に行う	該当事業なし	被害を最小限にとどめるよう努める	産業観光課	

項目	目的	具体的目標	計 画	H29年度結果	環境マネジメントプログラム		
					実施項目(手段)	実行部門	
環境保全項目	環境保全活動	コイヘルペス対策		発生時の対応を的確に行う	日田、見槻中、西谷集落でコイヘルペス病発生。コイの移動自粛、死んだコイの埋葬、焼却処理などの注意喚起を行った	被害を最小限にとどめるよう努める	産業観光課
	農地の保全	農地の集積化		農業経営基盤強化促進法による利用権設定及び中間管理事業により農地の集積を図る	利用権設定 新規 年間274筆44.1ha	両制度を広く周知し農地が有効に活用されるよう推進する	農業委員会事務局
	農地の保全	農地の荒廃防止	3ヘクタール	遊休農地の農地復旧を進めるとともに遊休農地化が危ぶまれる農地を早期に防止する	農地利用意向調査は全て回収し貸借希望農地については中間管理機構へ申請を行った	農地パトロールを行い遊休化防止の監視を行うとともに遊休農地所有者と農地復旧の協議を進める	農業委員会事務局
	事業における環境配慮	公共事業の環境配慮		丹比縦貫線改良工事、横田1号線改良工事、東鍛冶屋線改良工事において環境配慮を行う	横田1号線改良工事、東鍛冶屋線改良工事、乾橋修繕工事、新道線改良工事(2工区)、下大坪下坂線舗装修繕工事において、工事に使用する材料について再生材の使用を促進した	各種公共事業において環境配慮を行う	建設課
	清掃活動	集落沿線等の清掃活動	年1回	8月に各地域ごとに町内一斉清掃を行う	8月6日に町内一斉清掃を郡家・船岡・八東地域で実施した	建設業協会、郵便局等と共催で行い、チラシ等で一般参加者にも参加を呼び掛ける	建設課
	事業における環境配慮	健診時の環境配慮		個別受診券の導入により業務を効率化し、町民の負担を軽減する	・パソコン受付導入により業務の効率化が図られた ・受診人数に応じて胃がん健診車の台数を増やし、待ち時間の解消に努めた ・必要に応じて検診に関するパンフレットを配布し、健康意識の向上を促した ・スタッフが空いている検診へ誘導するなどし、待ち時間の解消に努めた ・休日検診を実施し、受診しやすい体制づくりに努めた	健診会場で人数調整を行う等適切に誘導し、待ち時間を短縮する 個別受診券の導入により、かかりつけ等の個人医院での受診をし易くする	保健課
	医療費の抑制	健診受診率の向上	年間受診率 胃がん健診50.0% 肺がん検診 50.0% 大腸がん検診 50.0% 子宮がん検診 50.0% 乳がん検診 25.0%	各集落の健康づくり推進員を通じ、健診受診率の向上を図る 健診、がん検診の受診率を向上させ、病気の早期発見、早期治療に努め、医療費を抑制する	・受診券を個別郵送し配布 ・広報、防災無線等による周知 ・健康づくり推進員への受診勧奨チラシの配布依頼と周知依頼 ・がん検診料、特定検診料の無料化(継続) ・健診会場の適正配置 ・健康づくり推進委員会での健康講座の開催 受診者数 胃がん 2,193/6,230人 35.20% 肺がん 2,905/6,230人 46.63% 子宮がん 1,312/3,960人 33.13% 乳がん 802/3,681人 21.79% 大腸がん 2,855/6,230人 45.83%	啓発ポスターやチラシを使って啓発したり、街頭キャンペーン等の活動を行う。 各集落の健康づくり推進員による健診前の説明会を開催し、健診受診の推進及び健康意識の向上を図る	保健課
	環境保全意識の啓発	事業における環境配慮及び取組の啓発		各種相談、健康教室等で環境保全啓発を行う	・料理講習で食材の廃棄を減らす取り組みを実施、研修会参加者の重複をなくし、無駄を無くした ・教室で使用する指導媒体の見直しを行い、配布資料を減らす等無駄を無くした ・健康づくり推進員、食生活推進協議会、各集落健康教室、健康相談会、転倒予防教室、家族介護教室での啓発活動を実施	各種相談や開催する教室での資源の再利用やごみの減量化を図り、環境に配慮した事業及び啓発を行う	保健課
	医療費の抑制	介護予防の推進	H22年度と同率の18.56%	要介護認定者の割合を抑制する	20.38%(2月時点) 1,170/65歳人口5,827+二号被保22=合計5,849人 認定者 1,192人	各種相談、教室、介護予防支援の実施により、自立した生活が送れるよう要介護状態の予防のための指導を行う	地域包括支援センター
	省エネ省資源	節電の推進		クールビズ及びウォームビズの徹底を図る	職員間へ取組の意識付けを行い、一人一人が積極的に実践した	各自が意識して取組む	地域包括支援センター
	廃棄物の削減	資源ごみの分別及びリサイクルの推進		分別を徹底し、リサイクルを推進する	廃棄物と資源の分別を徹底しごみの減量に努めた	各自が意識して取り組む	福祉課
	省エネ省資源	紙使用量の削減		積極的に両面、裏面使用に努め、紙使用量を減らす	可能な範囲で両面コピーを行い、封筒や裏面メモを利用し、紙の使用量削減に努めた	各自が意識して取り組む	福祉課
グリーン購入の推進	グリーン購入の推進及び普及	指定物品100%	環境配慮物品の購入を促進する	100%実施	物品購入時は可能な限りグリーンを実施する	福祉課	
省エネ省資源	節電の推進		電灯及び空調を適切に使用する	各部屋に貼紙をして利用者の協力を得ながら、適正な温度管理の徹底を行った 利用者の年齢や状況に配慮しながら空調管理を行った こまめな消灯にも努めた	不要な電灯はこまめに切り、空調設備は適正な温度管理を徹底し使用する	中央公民館	

項目	目的	具体的目標	計 画	H29年度結果	環境マネジメントプログラム		
					実施項目(手段)	実行部門	
環境保全項目	排ガス削減	公用車の適正使用の推進		公用車の同一方向への乗り合わせを徹底する	職員で声を掛けながら乗り合わせしたり、まとめて業務を行うことで走行を極力減らした	職員同士の声かけをする	中央公民館
	イベント・行事等における環境配慮	イベント・行事等における環境配慮		ごみの持ち帰りを推進する	敬老会で職員がゴミ捨て場所で参加者に分別の案内を行った 公民館祭では各出店者へゴミの分別の協力依頼を行い、公民館備品を使用する等使い捨て容器の使用を控えた	敬老会及び公民館祭でごみの持ち帰りを徹底する	中央公民館
	廃棄物の削減	廃棄物の削減の推進		古紙の再利用を図る等事務事業でのごみの減量をするとともに、各種講座でのごみの減量を推進する	事業で使用する容器等は可能な限り公民館備品を使用し、ゴミの削減に努めた	裏面使用やミスコピーの減量を図り、各種講座でのごみの減量を啓発するなど廃棄物の削減に努める	中央公民館
	医療費の抑制	食中毒の防止		敬老会での弁当などの衛生管理を行う	敬老会当日欠席者の弁当は速やかに処分し衛生管理に努めた 食中毒の発生しやすい時期はこまめにタオルを取替え、料理教室の食材の保管にも気を付けた	イベントや料理教室等での衛生管理を行う	中央公民館
	地産地消の推進	町内産、県内産の食材の利用	地元産 50% 県内産 30% 国内産 20% 外国産 0%	地産地消を推進する	天候による野菜不足があった時期があったものの、全体として地元産の割合が増えた 地元産の野菜不足の際は、可能な限り県内産を利用した 地元産 24% 県内産 46% 国内産 29.5% 外国産0%	生産者と連携を図り、地元産の食材を有効に活用する	学校給食共同調理場
	環境教育	環境保全教育の実施		ごみの分別、節電、節水を推進する	使用しない電気は細目に切り、節水については職員が率先して取組み子供たちへは繰り返し啓発した 冷暖房の使用は過剰にならないようこまめに調整を行った	日々節電、節水に努め、ごみの分別を子どもと共に行う	郡家東保育所
	資源再利用の促進	廃材の保育教材への活用		保育活動で廃材利用を行う 物を大切にすることを啓発する	廃材や自然物を積極的に製作活動に取り入れ、イベント等で使用した	廃材の再利用を通して物を大切にすることを育む	郡家東保育所
	資源回収事業の推進	資源回収の実施		ペットボトルのキャップ、廃油等の回収を行う	キャップは各家庭の協力も得ながら回収を行った 廃油は定期的に業者が回収したプリンターインクもリサイクル回収を行った	保護者と協力して行う	郡家東保育所
	省エネ省資源	節電・節水の推進		不要な電源や水の無駄を減らす	気温、室温、子どもたちの活動に応じて暖房器具、照明器具の使用の調整を行った 夏、冬に漏水が生じたが、早めに対応したため、全体として昨年度より水道	不要な電源はこまめに切り、水流の調整や蛇口の点検を行う	郡家保育所
	地産地消の推進	町内産、県内産の食材の利用		町内産及び県内産の食材を積極的に利用する	地元・県内産利用率56.3%	食材納入業者と連携を図り、旬の食材や町内及び県内産食材を積極的に使う	郡家保育所
	環境教育	環境保全教育の実施		年間計画に基づき環境保全教育を実施し、エコ活動や菜園活動、花壇活動等を行う	クリーンクリーン活動、菜園・花壇活動等を行い環境保全への関心を高めた プール活動を通し水の大切さを伝え、家庭にも協力を得て回収した廃材を保育活動に積極的に取り入れた	季節ごとに花や野菜を育て、自然と関わり命を感じる活動を行う さまざまな環境保全に関する保育活動を行い、保護者へも啓発する、	郡家保育所
	資源回収事業の推進	資源回収の実施		ペットボトルのキャップ、廃油、アルミ缶の回収を行う	ペットボトルキャップ、アルミ缶の回収は年間を通して保護者と協力して行った 各家庭へライトダウンの呼びかけを行った	保護者と協力して行う	国中保育所
	資源再利用の促進	廃材の保育教材への活用		牛乳パック等を保育活動で使用する	各家庭からも回収した廃材を使用して、積極的に廃材を日々の保育活動やイベント時に取り入れた	保育所から出る廃材を使用したり、各家庭へ廃材の回収を依頼し、保育教材として使用する	国中保育所
	省エネ省資源	節電・節水の推進		節電・節水を日々心掛ける	同じ施設利用団体やセンター利用者に節電の趣旨理解を図りながら、体調に配慮し空調の調整を行ったり、退所を決まりよくする等、節電、省エネに努めた	保育者が率先して取り組むとともに、利用者やファミリーサポートセンターへも理解と協力を依頼する	子育て支援センター
	資源再利用の促進	資源再利用の促進		裏面使用を推進する	複合機の不具合がある中でミスコピーを極力減らすよう努めた 裏面使用できない紙は再利用のためシュレッターにかけ、廃棄物の削減に努めた	ミスコピーの裏面使用、メモ用紙への再利用を推進する	子育て支援センター
廃棄物の削減	廃棄物の削減の推進		利用者へごみの持ち帰りを推進する	当初新規会員へのごみの持ち帰り啓発が十分とは言えなかったが、その後の啓発で改善された 園庭利用者のゴミが見られるため持ち帰りの張り紙を行った	利用案内に使用済み紙・パンツ等ごみの持ち帰りについて明記し、利用者へ協力依頼を行う	子育て支援センター	

項目	目的	具体的目標	計 画	H29年度結果	環境マネジメントプログラム		
					実施項目(手段)	実行部門	
環境保全項目	環境保全普及啓発	環境保全図書の購入及び提供	年間4冊(3館合計)	環境保全を目的として図書を購入する	各図書館で年間3冊の環境保全に係る図書を購入した 貸出回数 計17回	環境保全に関する書籍を購入し、貸し出しを推進することで、地域住民の環境保全意識の向上を図る	郡家図書館
	環境保全意識の啓発	マイバックの推進	利用全体の50%以上	図書館利用者へマイバックを利用するよう推進する	50%以上の目標は達成し、来館者の殆どがマイバックを持参した	利用される方へ随時声掛けを行う	郡家図書館
	省エネ省資源	節電・節水等の推進	電気、水、紙使用量において 昨年度実績1%削減	節電・節水を日々心掛け、裏面使用を推進する	削減率 電気0.65%の減 ガス25%増 水道12.74%減 紙 137%増	電気をこまめに切る、残業時の照明は最低限にする、ガスの利用調整、トイレの擬音装置の使用、紙の両面使用を推進する	船岡住民課
	事業における環境配慮	口座振替の推進	年間50件	来庁者に口座振替による納付を推進する	推進件数 年間 45件	主に転入者や高齢者等の窓口来庁者へ口座振替による支払いや納税を勧める	船岡住民課
	省エネ省資源	節電の推進	前年度比 3%削減	各水道施設や下水道施設の電気使用量を削減する	年間使用料実績及び削減率 水道施設 削減率-1%(水道使用量増により) 水道 H28年度 1,438,302kW H29年度 1,424,984kW 下水道施設 削減率1.4% 下水道 H28年度 1,861,160kW H29年度 1,833,898kW	早めの漏水の修繕を行ったり、ポンプ稼働時間の効率的な維持管理に努める	上下水道課
	上下水道施設の整備	水道施設の適切な維持管理		水道の適切な維持管理、有収率の向上に努める	水道有収率 年間平均 79.74%	定期的に水質検査を行ったり、定期的に点検等を行い早期に漏水に対処し、水道施設を効率的に運営する	上下水道課
		下水道の水洗化の推進		下水道の水洗化率の向上に努める	下水道接続率 92.42%	区長会で下水道接続への啓発を行う	上下水道課
	環境保全意識の啓発	環境関連研修の実施	年1回	議員のEMS研修を実施する	3名出席(14.2%)	一般職員向けの研修に議員も参加するよう推進する	議会事務局
	環境保全普及啓発	広報紙による環境情報の提供		議会だよりに啓発等の関連スペースを常設する	環境にやさしい再生紙と大豆インキを使用した 100%実施	環境にやさしい再生紙及び大豆油インキを使用して作成する議会だよりを通して環境情報の提供を行う	議会事務局
	省エネ省資源	節電の推進		ノー残業デーを推進する	水曜日に残業は行われなかった	水曜日の始業時と終業時に課長から周知を行い、実施を促進する	地籍調査課
	事業における環境配慮	土地データの電子化の推進	4. 46km <sup>2</sup> /年間	土地データの数値情報化を行う	平成29年12月納品 達成率100%	地籍調査、圃場整備完了地区の土地データの数値化情報を行う	地籍調査課
	環境教育	環境保全教育の実施	1回/月	毎月ECOの日を設定し、環境保全について考え話し合う	残食活動を行い、年間を通して残食量が減った エコ遠足を実施したり、絵本を使って省エネや廃棄物削減について指導した結果、関心を持ち子ども同士で声を掛けあう姿が見られた	環境保全について計画を掲示する等意識付けを行い、活動に取り組む	船岡保育所
	資源再利用の促進	廃材の保育教材への活用		廃材を保育活動で活用し、ものを大切にすることを育てる	廃材や自然物を積極的に製作活動に取り入れ、イベント等で使用した廃材を使つての取り組みには新たな廃棄物を生み出すので、テープや糊の使い方にも指導や工夫をした	保育所から出る廃材を使用したり、各家庭へ廃材の回収を依頼し、保育教材として使用する	船岡保育所
	省エネ省資源	節電・節水の推進		節電・節水を日々心掛ける	廊下に節電、節水ウォームビズ等のポスターを貼り節電の意識付けをおこなったところ、子どもたちも興味を示し、手洗いの際に水について考える姿が見られた エアコンの清掃を順次行い、園内の温度差を極端に生じさせないよう冷暖房を使用した	保育者が率先して取り組むとともに、各年齢に応じた内容で推進する	船岡保育所
	事業における環境配慮	事務における環境配慮		各種証明書発行時に申請者から十分な聞き取りを行い、無駄を減らす	保険証・納付書の発行、再発行のミスはない状態となってきたが、証明書の発行と手書きの納入通知書については、書き損じが生じたり、聞き取り不十分により再発行することが多かった	申請者に十分聞き取りを行い、不必要な証明書や納付書の発行を減らす	八東住民課
	事業における環境配慮	口座振替の推進		来庁者等に口座振替による納付を推進する	申請用紙およそ55部分を案内した	納税のために来庁された者に口座振替を推進する税金や使用料等の納付案内通知に口座振替の案内を同封する	八東住民課
事業における環境配慮	イベント・行事等における環境配慮		実施するイベント・行事等について環境配慮を行う	人権尊重のまちづくり講演会、部落解放研究会の参加者に公共交通機関の利用促進・マイカーの自粛、乗り合わせ等呼びかけた チラシに公共交通機関(若桜鉄道)の時刻表を掲載した	人権尊重のまちづくり講演会及び部落解放研究会の開催にあたり、参加者へ公共交通機関の利用、マイカーの自粛、乗り合わせ等の呼びかけを行う	人権推進課	
廃棄物の削減	分別の徹底及びリサイクルの促進		分別並びにリサイクルを推進し、廃棄物を削減する	廃棄物の削減率 年間93.6% 178.1kg/190.1kg	資源ごみの分別を徹底し、リサイクルを推進する	男女共同参画センター	
事業における環境配慮	イベント・行事等における環境配慮		実施するイベント・行事等について環境配慮を行う	各講座や教室等の資料は可能な限り紙の使用を減らし、イベントのチラシは必要部数を印刷した 廃材を使用したイベントを実施したり、料理教室では使い捨て容器は使用せず、繰り返し使用可能な容器を使用した	実施する講座やイベントにおいて、環境に配慮した取り組みを行う	男女共同参画センター	

項目	目的	具体的目標	計 画	H29年度結果	環境マネジメントプログラム		
					実施項目(手段)	実行部門	
環境保全項目	廃棄物の削減	資源ごみの分別及びリサイクルの推進	廃棄物処理運用手順書に基づく取組の徹底や見直しを行い、さらに推進する	裏面使用の活用、封筒の再利用等を徹底し、廃棄物量の削減に努めた	廃棄物の計量を行って減量への意識付けを行う	学校教育課	
	省エネ省資源	ノー残業デーの推進	10日/各四半期(年間:40日)	毎週水曜日をノー残業デーとして取組を行う(目標 各四半期 10日間)	年間31日間(達成率 60%)	水曜日の朝礼に職員へ啓発を行う	学校教育課
	事業における環境配慮	イベント・行事等における環境配慮		実施事業における環境配慮と共に、町民への環境配慮協力依頼、環境保全の普及啓発を行う	通学合宿、ジュニアリーダー出店、マラソン大会では、参加者にゴミの分別や削減、節電、節水について協力依頼を行った 成人式では公共交通機関の利用や乗り合わせによる来場を案内し、また暖房時間の短縮を行った	各地域通学合宿やマラソン大会、成人式を実施するにあたり環境に配慮し、またジュニアリーダーを中心に町内公共施設清掃を行う	社会教育課
	省エネ省資源	節電・節水の推進		節電・節水を日々心掛け、資源の大切さを伝える	無駄な水を流さない事や、電気をこまめに消すなど、子ども同士が意識し合いながら取り組む姿が見られた 暖房の効率を考えながら使用を工夫した	保育者が率先して取り組むとともに、各年齢に応じた内容で推進する	安部保育所
	環境保全意識の啓発	保護者への環境保全啓発及び協力		排ガス削減について理解を深め協力を依頼する	参観日に保護者へアイドリングストップを呼びかけたり、ポスターを作成して掲示して協力依頼をした	アイドリングストップに努め、排ガス削減についての理解を深める機会を作り、協力を依頼する	安部保育所
	資源再利用の促進	廃材の保育教材への活用		環境配慮について理解し、廃材を保育活動で有効利用する	廃材の収集は各家庭へも依頼し、子どもたちも積極的に集めた 日々の保育活動やイベント時には今あるものをリメイクしたり、小道具や新年度の準備等にも廃材をできる範囲で使った 子どもたちも遊びに必要なものを創意工夫して製作する姿が見られた	保育所から出る活用できる廃材を活用したり、牛乳パックやプリンカップ等の廃材を各家庭に回収を依頼し、保育教材として使用する	安部保育所
	省エネ省資源	節電・節水の推進		節電・節水を日々心掛ける	水の無駄な使用が見られた時はその都度声掛けを行った 以上児はおやつと一緒に食べる等、暖房の使用場所を減らす工夫を行った	不要な電源はこまめに切り、水流の調整や蛇口の閉め方等各年齢に沿って推進する 菜園の水やりは無駄水をださないよう声を掛ける	丹比保育所
	資源再利用の促進	資源再利用の促進		裏面使用を推進する	複合機の不具合がある中でミスコピーを極力減らし、インク及び紙の削減に努めた	ミスプリント、コピーを減らすことに努め、裏面使用、メモ用紙への再利用を推進する	丹比保育所
	環境教育	環境保全教育の実施	1回/月	毎月エコたんびっ子活動を行い、保護者へも啓発を行う	分別について絵表示で分かりやすく工夫したことで子どもたちがより意識的に取り組めた 水の大切さ、衣服の調整の仕方、食品ロスについて取り上げ、子どもたちと一緒に取り組んだ 夏野菜の栽培、世話、収穫を通し環境保全や節水について指導をした	エコたんびっ子年間計画を立て意識的に取り組む活動内容や写真を掲示し保護者への協力や理解を求める	丹比保育所
	省エネ省資源	節電・節水の推進		節電・節水を日々心掛ける	網戸を整備したり、隙間テープを使用するなど、冷房の使用頻度を減らしたり、効率よく使用できるよう工夫した 漏水を早めに発見し、止水栓をバーへ変換したことで確実に止水でき、水道使用料の削減ができた	保育者が率先して取り組むとともに、各年齢に応じた内容で推進する	八東保育所
	省エネ省資源	節電・節水の推進		環境教育を実施し、節電・節水・裏面使用に努める	手洗い場を明るく塗装し、節水についての分かりやすい絵を掲示したり、漏水に注意が必要な個所に注意タグを表示した 体を動かす遊びを取り入れた 不要なファックス受信を排除し、紙とインクの無駄を省いた	環境教育を実施し、自然体験を通して素材の特性を生かした活動を行う 水道や電気の節約に努め、コピー用紙の裏面を積極的に活用する	八東保育所
	資源再利用の促進	廃材の保育教材への活用		廃材を保育活動で活用し、ものを大切にすることを育てる	ペットボトル等の空き容器を保育活動に取り入れ、扱い方やごみとしての分別の仕方を学んだ 廃材や自然物を利用した製作活動を積極的に行った	保育所から出る廃材を使用したり、各家庭へ廃材の回収を依頼し、保育教材として使用する	八東保育所
	資源回収事業の推進	資源回収の実施		ペットボトルのキャップ、廃油、アルミ缶の回収を行う	ペットボトルキャップ、アルミ缶は各家庭の協力のもと回収を行った 保育活動に使用する牛乳パックや段ボールの回収も行った	保護者と協力して行う	八東保育所
	省エネ・省資源	節電の推進		電気の適正利用に努め、利用者にも啓発する	各部屋に冷暖房使用時の設定温度についての張り紙を行い、利用者の協力を得ながら可能な範囲で節電に努めた	電灯や空調の適正利用を率先して行い、また利用者にも声を掛ける等協力依頼をする	中央人権啓発センター

項目	目的	具体的目標	計 画	H29年度結果	環境マネジメントプログラム	
					実施項目(手段)	実行部門
環境保全項目	イベント・行事等における環境配慮	イベント・行事等における環境配慮	主催するイベントや行事、各種活動においてごみの分別・廃棄や使用するものに配慮する等、環境配慮を行う	イベント用の容器は焼却可能な紙容器を使用し、次年度以降も使用可能な案内等の紙はラミネート保存し、繰り返し使用できるよう工夫した 児童館事業では再利用できるものや廃材を再利用した	ごみの分別や減量に努め、資源を再利用する等環境に配慮する事業で使用する資料や材料に環境に配慮したものを使用する	中央人権啓発センター